



# ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 131

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問) 昨年末に亡くなった女優「高峰秀子」について著作や出演作品の写真を調べたい。

答) 著作は「高峰秀子」をキーワードとして著者名で検索をしてみます。

**図書** → **著作者名等から調べる** → **高峰秀子** ⇒ 2件

『わたしの渡世日記 上』(E778/Ta43/1) 閉架書庫

『わたしの渡世日記 下』(E778/Ta43/2) 閉架書庫

出演作品等は「高峰秀子」をキーワードとして全資料から検索をしてみます。

**全資料(ことば)** → **高峰秀子** ⇒ 273件

(図書27件、雑誌193件、イメージ写真44件、ニュース映画4件、レコード5件)

イメージ写真(「カルメン故郷へ帰る」「二十四の瞳」等)は検索画面から直接ご覧になれますが、ニュース映画とレコード(「銀座カンカン娘」「森の水車」等)は5階の音響・映像室でご視聴ください。

映像・音響資料だけを調べる場合は、**ひとつ前に戻るボタン**を押し〔調べたい資料〕の全資料のチェックをはずして新たに映像・音響資料にチェックを入れ、調べます。(クリックするとチェックがはずれたり、ついたりします)

※ 昭和期を代表する俳優「高峰秀子」は1924年生まれ、5歳から子役として映画に出演し、多感な青春時代は太平洋戦争の真只中、戦中戦後の暗く苦しい日本の社会を明るく、強く生きる象徴とされる存在だった。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等は、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

## 気象報道管制と空襲



昭和 16 年 12 月 8 日の太平洋戦争開戦とともに、「天気予報」はラジオ・新聞から姿を消しました(同年 9 月末をもって、「天気図」は新聞から既に姿を消していました)。これは、気象情報が日本空襲に利用されることを恐れてのことと言われています。しかし中央气象台(明治 8 年東京气象台として業務開始、昭和 16 年当時は文部省に移管されていた)は業務を続けていました。大正 14 年 2 月より発信されていた気象無線通報は、暗号化されて継続されました。気象無線通報とは、中央气象台が発表する暴風警報を海上船舶に伝達したのが始まりです。昭和 20 年 6 月当時の概要は以下の通りでした。

- 甲類 ……観測時実況、陸上実況・警報、南方総合陸上実況・警報など
- 乙類 ……東部管区航空実況・警報、南方航空路実況・警報、内地総合航空実況・警報、上層気流実況など
- 丙類 ……海上予報・警報、航空路予報など
- 陸軍兵要 ……内地状況、長期予報など

船舶の航行にはもちろん、陸海軍それぞれの戦局に天候は重大な影響を及ぼすため、中央气象台の発する情報は重要でした。

この厳重な管制が、実際の空襲の際にどう効果を発揮したのでしょうか。本土空襲初期の記録によると、昭和 19 年 11 月 1 日(東京周辺の空撮実施)、11 月 24 日(中島飛行機武蔵製作所付近被爆)、11 月 27 日(下町・山手方面被災)と、いずれも日本が移動性高気圧におおわれていた日を狙って米機が来襲していることがわかります。暗号の解読が進んでいたようです。ただし上層気象の暗号は未だ解読できていなかったのか、高度 8,000~9,000m 付近を吹く強い西風に米機は肝を冷やし、空爆の成果もあまりあがりませんでした。

昭和 20 年に入り、暗号解読が進み、爆撃の方針も変わると空襲被害は大きくなります。20 年 2 月 25 日(神田方面空襲)の関東地方は高気圧圏にあったが、午後から雪となって北東気流が入っていたため、盲爆には都合のいい天候でした。また 3 月 10 日の東京大空襲時は、大陸から優勢な高気圧が張り出し、日本列島全般に強い季節風が吹いていました。そこにかつてない低空爆撃(高度 1,500~2,300m)で大量の焼夷弾が投下されたため、火災と季節風により風速 50m を超すとも言われた火風が発生し、甚大な被害が出たということはよく知られています。

気象報道管制が解除されたのは 20 年 8 月 21 日、終戦直後のことです。果たしてこの管制は空襲による被害の軽減に効果があったのでしょうか。次回は国民にとっての気象報道管制に少しふれてみようと思います。

[参考文献] 「気象百年史・同資料編」(気象庁、451/Ki58 閉架書庫)

「20 世紀放送史 上」(日本放送協会、699/N71/1 閉架書庫)

—図書室から—

\* 資料公開コーナーのご案内

1階にて、2月20日(日)まで「婦人雑誌の付録—料理編—」を開催しています。どうぞご見学下さい。

(実物は図書室カウンターにありますので、お手にとってご覧いただけます)

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 131

2011年1月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1